

2019年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人 子どものための国際音楽交流協会

I. 事業方針

学校や自治体、企業や地域と連携し、使われていない楽器の収集と寄贈および国際平和支援に関する事業等を行い、子どもたちの音楽教育推進と世界平和の進展に寄与する。

II. 事業内容

1. 楽器の収集と寄贈事業

1) 楽器収集事業

①小学校及び地域における収集事業

- ・内 容 ア) 教育委員会やPTAと連携し小学校で楽器収集活動を実施した。
神奈川県南足柄市、小田原市（小田原高校）、山北町、松田町、箱根町、茅ヶ崎市、千葉県流山市、浦安市
- イ) 地域における収集活動を拡充させた。
南足柄市、世田谷区、中央区、墨田区、所沢市
- ・時 期 2019年4月～2020年3月
- ・場 所 神奈川県や東京都、千葉県、埼玉県などの小学校等と自治体
- ・従事者人員 10人
- ・支 出 額 10,927円

②企業との連携

ア) KDDI

- ・内 容 KDDIのご協力により収集された楽器を受領した。
- ・時 期 7月12日
- ・場 所 KDDI 本社
- ・従事者人員 4人
- ・支 出 額 0円

イ) 太陽生命

- ・内 容 全国約155支社のご協力で集められた楽器を受領した。
- ・時 期 1月17日
- ・場 所 太陽生命 本社
- ・従事者人員 4人
- ・支 出 額 11,615円

③楽器店・専門学校での楽器の整備・修理等

- ・小田原市大村楽器と所沢市中富楽器および新宿区の専門学校 ESP エンターテイメントなどの支援で、パーツの補充と楽器の点検・修理を行っている。
- ・従事者人員 3人
- ・支 出 額 3,860円

2) 楽器寄贈および音楽教育支援事業

①フィリピン共和国における事業

ア) 継続事業

- ・内 容 Little Flowers Children's Home Foundation 小学校からの要請に基づき、ギター1台とリコーダー3本を寄贈した。
- ・日 時 5月10日
- ・場 所 ベンゲット州
- ・従事者人員 1人
- ・受益対象者 小学校児童 150人
- ・支 出 額 62,930円

イ)他地区の学校との新たな交流を追求

在フィリピン・コーディネーターと協力し、ニーズや受け入れ態勢などをもとに最適な学校との交流を追求している。

②メキシコ共和国における事業

- ・内 容 クワバレノス小学校
小学校からの要請に基づき、鍵盤ハーモニカ 10 台とリコーダー10 本を寄贈した。
- ・日 時 9 月
- ・場 所 ロスモチス市
- ・従事者人員 1 人
- ・受益対象者 小学校児童多数
- ・支 出 額 ③に含む

③ベネズエラ共和国における事業

- ・内 容 ピースポートとのコラボレーションにより音楽教育組織「エルシステマ」に、鍵盤ハーモニカ 49 台、リコーダー51 本、ギター6 台、バイオリン 10 台、ドラム 8 台、チェロ 1 台、キーボード 1 台を寄贈した。
- ・日 時 9 月
- ・場 所 カラカス市
- ・従事者人員 1 人
- ・受益対象者 小中学生多数
- ・支 出 額 431, 234 円

④モンゴル共和国

- ・内 容 ウランバートル市の Nakaikh119 小中学校を AIMEC モンゴル代表と共に訪問し、鍵盤ハーモニカ 5 台、リコーダー 7 本を寄贈した。
- ・日 時 11 月
- ・場 所 ウランバートル
- ・従事者人員 1 人
- ・受益対象者 小中学生約 20 人
- ・支 出 額 0 円

⑤ミャンマー、スリランカ、ペルーでの楽器寄贈の事業

- ・NPO 法人日本ペルー共生協会の協力で楽器寄贈についてペルー現地調査を行ったほか、各国の在日大使館を訪問し、楽器寄贈などについて協議を開始した。
- ・従事者人員 3 人
- ・支 出 額 4, 218 円

⑥ウガンダでの音楽教育支援事業は準備が進行中。

2. 市町村の文化祭や産業展等行事への参加

- ・小田原市主催で 2 月 23 日に行われる「地球村市民フェスタ」に参加する予定だったが、新型コロナウイルス禍のために中止となり、参加できなかった。

3. ICT を活用した諸外国との交流

楽器寄贈事業と関連付け交流活動を実施

- ・内 容 山北町立川村小学校とフィリピン共和国ベンゲット州の Little Flower Children's Home Foundation とが、自己紹介カードを交換した後、スカイプを利用して交流し、文化紹介や音楽演奏を行った。

- ・時 期 2019年11月7日、18日
- ・場 所 二つの小学校
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 両国の児童合計約100人
- ・支 出 額 0円

4. 青山学院大学学生との協力関係構築

- ・AIMEC 役員によるボラカフェでのプレゼン
- ・広報宣伝活動への協力
 - …以上は条件が整わず未実施
- ・鍵盤ハーモニカ収集活動
 - …AIMEC 協力者の小学校教師より勤務校での鍵盤ハーモニカ収集寄贈の連絡あり
 - ⇒新型コロナウイルス禍のため受け渡しの時期と方法は未定

5. 国際平和支援のための活動

- ・箱根町からスリランカへの消防車寄贈事業の計画立案と準備活動を行っている。

6. 組織の再編強化

- ・組織強化を図るために、南足柄の本部・事務局に加え東京に事務局を設置した。
- ・会員の交流と親睦を図るために Annual Party を2019年11月30日に開催したところ、約30人の参加を得て、好評を博し、成功裏に終えることができた。アンケート等で示された課題は次回の参考に。
- ・3名の新理事を迎え、本部体制を強化することができた。
- ・認定NPO法人格取得に向けて準備を進めており、2020年度中の実現が期待できる。
- ・総会と理事会の役割分担を見直し、より機能的なものに改めるとともに、「組織および運営規則」の改訂を行った。

7. 広報宣伝活動

- 1) 広報担当部門が強化され、AIMEC ホームページの更新に着手することができた。
- 2) 会員向けニュースレターを2019年9月15日と2020年3月1日に発行した。
- 3) 「AIMEC 表記統一基準」を作成し、正式文書を作成する際の目安とすることとした。
- 4) AIMEC 広報活動用のパワーポイントを活用した映像資料を作成した。
 - ・従事者人員 7人
 - ・支 出 額 7,592円

以上